

遠野 議会だより

No.55

平成30年10月

【発行】
遠野市議会



えい！ 入れ！

鱒沢保育園の「おやこらんどうかい」

9月
定例会

6月

12月

3月

主な内容

- ◆ 9月定例会の概要 2
- ◆ 市への要望 3
- ◆ 決算特別委員会質疑 7
- ◆ 一般質問 9人市政を問う 11

9月定例会



平成29年度決算
歳出総額289億円を認定
(一般会計総額は197億円)

平成30年9月定例会が、8月28日に招集され、9月13日までの17日間の会期で開かれました。
今定例会の一般質問では、9人の議員が登壇し、市政を問いました。
提案された平成29年度決算関係10件、平成30年度補正予算関係6件、条例の制定5件、その他1件の22議案の全議案を原案のとおり可決しました。
また、最終日には、財産の取得に係る追加議案1件、議員発議による条例の制定1件を可決しました。

市民の声を市政へ

市へ要望書を提出

4月に開催した市内11カ所での市民との懇談会においては、延べ115人の市民から、多様なご意見、ご提言をいただきました。
市議会として、いただいたご意見を議会活動に活かすため、各常任委員会において所管別に課題を調

査研究しました。予算等審査特別委員会の質疑の中で取り上げ、市当局に対応を求めたものもあります。
一連の取り組みのまとめとして、早急な対応を市に求めるべき課題2点について、9月25日以下の要望書のとおり、市に対応を要望（写真）しました。



市からは、要望1の空き家について、関係者に対応を協議するとの説明がありました。2については、準中型免許が必要な消防車両が少なく、新入団員には運転をさせないことから直近の問題はない。必要に応じて今後対応するとの説明でした。
その他のご意見等について、議会としての受け止め、その後の対処した内容を記録してまとめ、各地区センターに配布しております。また、市議会のホームページにも掲載しましたので、どなたでもご覧いただけます。
市民のご意見を聞く機会は、今後も継続してまいります。

市議会から市当局への要望書（一部省略）

1 土淵保育園前の空き家への対応

土淵保育園近くの空き家の老朽化が著しく、物の飛散する危険、保育園児など周辺住民に被害が及ぶことが懸念され、早急な対応を望む市民の声が届いています。こうした状況は市民の安心安全に大きな支障を生じさせており、緊急な行政課題です。

国の空き家対策法では、危険な空き家に対して、自治体が所有者に強く指導することを可能としています。

市におかれては、市民の安心安全を守る観点から、家屋の所有者等との交渉の上、早急に対策を講じられるよう要望します。

2 消防団員の準中型免許取得への支援

道路交通法が改正され、総重量3.5トン以上7トン未満の車両を運転できる準中型免許が新設され、法改正以降に免許取得をした消防団員、将来の消防団員は、普通免許で消防車両が運転できない場合が想定されます。

消防団は地域の安心安全を守るため、欠くことのできない組織であり、消防団に若い人材を安定的に迎え入れることは、その役割を継続的に果たすために必要不可欠です。準中型免許の取得費用を支援する制度を設けられることを要望します。

終わらない原発事故被害 放射能汚染対策調査特別委員会

東日本震災により発生した東京電力福島第1原子力発電所の事故は、当市にも大きな被害を及ぼしました。
市議会は、市民に与える放射能汚染の影響を市政の重要課題と捉え、放射能汚染対策調査特別委員会を平成24年3月に設置し、状況の把握と、市への提言を行ってきました。
特別委員会は前任期から引き継がれ、市の取り組み状況の聞き取り、汚染物質の保管状況の現地調査を、5回行いました。調査した事項は以下の通りです。
① 原木しいたけ栽培の再開への支援（9月18日現在、全32戸の再開が認められている）
② 宮守町砥森第3市有林に保管されているチップ化した汚染ホダ木の状況
③ 西部保管施設と中部保管施設の利用自粛（1170トン）の保管状況
④ 木工団地内の施設に保管されている汚染乾燥しいたけ（5680キログラム）の状況
⑤ 荒川高原に埋設されている汚染稲わらの状況
⑥ 東京電力への損害賠償請求状況
現任期末を持って特別委員会は解散しますが、被害の解決には至っており、次期市議会においても、同様の特別委員会設置を提言し、今定例会最終日に活動報告を行いました。

市民の声

毎号、楽しく読んでいます。議員の皆様暑い中仕事お疲れ様です。今回は、各地域で、災害があり、被災した皆様も、連日の暑さで大変ですね。身体に気をつけて頑張ってください。
(早瀬町、49歳、女性)

学んで行動する議会へ

市政調査会

〔調査日〕

平成30年7月20日

〔参加議員〕
12名

道の駅「遠野風の丘」の機能充実整備計画について、施設配置図を見ながら見直し部分を中心に説明を受け、質疑応答をおこなった。災害時の防災機能充



4月1日に供用開始した附馬牛保育園・児童館

実については、防災館（仮称）を新設するのではなく既存建物と産業振興拠点施設（新設）を活用することになった。また国道から東側駐車場に直接出入りできる入退出路を新たに整備し、既存駐車場を拡張整備する見直し案が示された。

その他の調査事項

- ◆子育て支援施策の現状の調査
- ◆平成30年3月に落成した附馬牛保育園・児童館の現地視察
- ◆遠野みらい創りカレッジ改修整備事業について改修箇所を調査

議員有志

群馬県上野村・桐生市を視察

〔研修日〕

平成30年

8月8・9日

〔参加議員〕

- 萩野 幸弘
- 多田 勉
- 菊池 由紀夫
- 菊池 充
- 瀧澤 征幸
- 多田 誠一
- 安部 重幸
- 新田 勝見



雇用の受け皿になっている「きのこセンター」

◆上野村の雇用の創出とIターンの促進を視察

上野村は、平成元年度より、Iターン者を積極的に受け入れ始め、現在では総人口の20%の260人が定住し生活している。定住増加の理由は、村が主体となつて雇用の場を創出したことである。上野村は、交通条件や地形的な条件から企業誘致は期待できない状況にあり、新たな産業おこしと連動させて、各種施設の整備による雇用の場の創出に力を入れてきた。このことが、定住増加の実績につながっている。

◆桐生市の森産業(株)で乾しいたけの現状と今後の生産対策を視察

全国の乾しいたけ生産量は、減少傾向で推移。価格は、平成20年から25年にかけて約5割下落したが、その後



種駒培養室を視察

大幅に上昇し、平成28年度は、最高値を更新。植菌本数は減少傾向にあったが、平成27年度以降は微増傾向にある。今後の生産農家への対策としては、気候温暖化に対し遮光対策や灌水対策がコントロールできる施設や、山林内の発生環境の確保がポイントになる。

任 常 務 委 員 会 総 務 委 員 会 行 政 視 察

〔調査日〕

平成30年

6月26〜28日

〔調査研修箇所〕

- 島根県雲南市
- 躍動と安らぎの里鍋山
- 島根県安来市比田
- えくひだカンパニー

〔参加議員〕

- 菊池 由紀夫
- 佐々木 大三郎
- 瀧本 孝一
- 浅沼 幸雄
- 安部 重幸
- 新田 勝見
- 〔同行職員〕
- 市民協働課長
- 萩野 弘美

◆新たな地域運営母体

雲南市では、様々な世代が「地縁」によるつながりをもとに連携し、多様な活動を行う住民組織「地域自主組織」が市内全域に結成されている。集落の課題を、現代に合わせて少しずつ方法を変えるため、主に小学校区を単位として組織が立ち上がっている。

最も多様な活動を行っている三刀屋地区の「躍動と安らぎの里鍋山」は人口1360人の集落である。「鍋山地区がどんな地域であれば良いか」子どもから高齢者までを対象とした記述式のアンケートの結果をもとに、安心して暮らし続けられる地域を目指した計画が作られた。地域の「生活を守る」「活性化させる」「維持する」ためのそれぞれのプロジ

◆地域計画を達成するために会社を設立

弱者支援などである。エクト（計画）は、アンケートの結果とともに絵本のように見やすいパンフレットで全戸に配布されていた。主な取り組みは、水道検針と高齢者宅訪問をタイアップさせた見守りや、大手コンビニエンスストアの移動販売車を利用した買い物

◆地域計画を達成するために会社を設立

農家や商店の経営者、行政職員ら80人の住民有志が立ち上げた会社「えくひだカンパニー」。集落営農と地域運営組織の機能を持ち、住民による住民のための株式会社として

◆地域計画を達成するために会社を設立

て、多様な事業を展開していた。きっかけは、比田地区が受け入れた農業志望の3人の地域おこし協力隊の行動力が生かされたからだという。多くの市民が関わってワークショップを繰り返し、88の地域ビジョンを作成。そのビジョ



地域計画を見やすいパンフレットに



地域ビジョンができるまでを説明する地域おこし協力隊員

◆まとめ

両組織はともに、生活者ならではの発想や課題を出し合い、地域の魅力発見につなげ、生きがいや充実を感じる活動ができていた。そこへ、若者の行動力が影響し、地域への思い、行政と対等な関係を保ち取り組まれていく住民自治実践事例が成果を上げていた。

本市においても、それぞれの地域がおかれた環境を改めて認識し、地域づくりへの取り組みを加速すべきと感じた。

産業建設 常任委員会 行政視察

〔調査日〕

平成30年
7月4～6日

〔調査研修箇所〕
島根県益田市匹見

〔参加議員〕

- 菊池 充
- 多田 勉
- 照井 文雄
- 荒川 栄悦
- 細川 幸男
- 多田 誠一

〔同行職員〕

- 畜産園芸課副主幹
菊池 功幸

◆わさびバイオセン

ターの運営と生産振興

島根県益田市匹見地域（旧匹見町）は、昭和63年に特産品振興のため、全国に先駆けて

わさびのバイオセンターを整備した。旧宮守村もこれを参考に平成2年に整備している。今後の遠野産わさびの生産振興に資するべく訪問した。

センターは職員3名で年間3～4千本の苗を出荷。年間の運営費は800万円。課題は、苗の需要期が集中することから、通年での生産体制が困難なこと、基になる苗の品質のばらつきである。対策として、より良い苗の選

抜と中間育苗を、今年度から2、3年かけて、県、JA、生産者組合が一体で取り組んでいく。

かつては東の静岡に匹敵して「西の匹見」と呼ばれたわさびは、栽培面積、生産量、生産者とも減少している。しかし近年は、11人ものイターン者が生産に加わり、行政による圃場、施設、作業道の整備とバイオセンターの運営で、特産品振興に力強く取り組んでいる。

◆森の守り人による自

伐型林業の実践と普及

匹見地域は97%が山林で、地域おこし協力隊制度によって、平成27年度から合計9名の隊員（森の守り人）が自伐型林業に特化して従事している。自治体の指導体制も一貫しており、4年目の起業、定住を目指している。



匹見上地区振興センターで説明をいただく



匹見地域の溪流式わさび田（標高500m）

決算 特別委員会

決算特別委員会（議長及び監査委員を除く16人の議員で構成、委員長菊池由紀夫議員、副委員長佐々木大二郎議員）は、決算等10件について付託を受け、審議を行いました。

今委員会では、事業後の成果等について活発な質疑が交わされました。その結果、全10議案が原案のとおり可決・承認されました。

障がい者雇用を守る
取り組みを

問 市職員の障がい者の雇用状況は。

答 自治体の法定雇用率は2・5%であり、遠野市では7人の雇用が必要となる。計算上、重度の場合カウントを増やす等の決まりがあり、実際には9人の在職扱い（雇用率3・11%）となり、法定雇用率を上回っている。

問 水増しなど不適切な計上はないか。

答 第三セクター経営体強化のため、産業部

第三セクター経営体強化の取り組みは

答 採用の際に、各種手帳を確認し適切に対応している。
問 定着して働けるように、働きやすい職場環境の取り組みが大事では。
答 情報交換しながら、より良い環境改善ができるように努めたい。

長は毎月の施設長会議に出席して意見すべきではないか。
答 毎月の会議には担当課長が出席しており、その報告を受け状況を確認している。年4回の理事会には出席して経営状況を把握し、より良い方向を目指すように努めている。

問 第三セクター改革

担当部長が理事会等に出席する場合は、単なるオブザーバーではなく、経営改革の視点で発言・指導をしていくべきではないか。
答 経営者の立場・意識で出席し、対応している。

問 ふるさと公社が頑張れるしくみを指導していくことが重要であ

るがどうか。
答 年度計画に向かって必死に取り組んでいる。機能を強化して打開していくようとしている。

虐待通報

(62)0189

問 児童虐待に関する相談件数は。
答 平成29年度は24件。

うち児童相談所に通報したケースが7件。要保護児童対策地域協議会において、学校・警察・民生委員など関係機関団体が行政とともに情報を共有している。

問 受付体制は。

答 電話番号(62)0189で24時間対応。執務時間内は子ども政策課に直通。夜間・休日は当直に繋がり、職員と

連絡を取る。また、警察の通報情報についても伝達ネットワークが構築されている。必ず、通報後48時間以内に子ども本人を確認する。
問 市民全体に番号の周知をはかるべきでは。
答 遠野テレビ、広報などを通した周知、リーフレットの作成も大事である。また、様々な団体に出向き説明をすることも必要と考える。

気になる子どもはいませんか？【児童虐待を防止しましょう!】

あなたのまわりに、こんな子どもはいませんか？

- ひどくよごれた服を着ている子ども
- 顔や腕、足などの多数のあざがある子ども
- ひどくびくびく、おどおどしている様子の子ども

子どもたちのこんな様子が、実は、虐待を受けているというサインかもしれません。「虐待を受けたと思われる子ども」がいまいたら、速やかに、子ども政策課(☎62-0189)に連絡(通告)してください。通告は子どもを守るためのものです。また、医師や公務員の守秘義務違反にはなりません。連絡した人が特定されないように、秘密は守られます。

児童虐待とは・・・	
身体的虐待	殴る、蹴る、投げ落とす、激しく揺さぶるやけどを負わせる、濡れさせる など
性的虐待	性的行為の強要、性器や性交を見せる、わいせつな写真等の被写体にする など
ネグレクト	家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、保護者以外の同居人による虐待を放置すること など
心理的虐待	言葉による脅し、無視、兄弟間差別的扱い、子どもの目の前でドメスティック・バイオレンス(DV)を行うこと など

【お父さん・お母さんへ】

- 自分だけがうまく子育てできていない
- 助けてくれる人がいない
- 子どもの行動が気に入らない
- この子がいなかったら、などと思ってしまう自分を追い詰めている。

【子どもたちへ】

- かぞくの誰れかにたたかれたり、なぐられたりして、いたいおもいをしていたり、おなかがすいてもごはんをもらえなかったりしたら、

そんなとき、ひとりでなやまないで、下記に相談してみてください。

【問い合わせ先】
子育て応援部子ども政策課 児童家庭担当 ☎62-0189（直通）
若手県福祉総合相談センター ☎019-629-9605

遠野市ホームページでの周知

子どもの城
児童館・児童クラブ

開館時間は、月曜日から金曜日、朝8時30分から夕方5時15分まで。ただし、申請があれば、6時までお預かりする。土曜日は白岩児童館、宮守

児童館の2館を留守家庭の児童を対象に開館している。

閉館時間の延長について、保護者からの要望は無い。これからの検討課題として認識している。保護者の声を聞き入れながら、運営主体



児童館は子ども達の育ちに大きな役割を担っている

である保育協会やわらすつこ支援委員会などと協議を進める。

利用料金については今後の考え方は、子育てするなら遠野として、無料を継続する。

放課後等デイサービスの利用は有料である。助成する考えは、利用者には所得に応じた料金負担が生じている。助成し、公平性を保つ考えである。

堆肥センター管理事業の実績は

29年度の利用実績は、受け入れ堆肥は2757トンで製品堆肥は2476トンの実績となっている。

冬期間の製品堆肥がストックされているため、受け入れできない実態は解消されているか。3月期に、受け入れできないことが何日かあったが、これは、沿岸地区へ製品堆肥の運搬のために人的体制

供給量は野菜部会が546トン、ホップ農協が534トン、たばこ振興会が700トン等となっている。

近年の販売量は、2000トンから2500トンで推移しており、要望に対する供給量は満たしている。

冬期間の製品堆肥がストックされている

ため、受け入れできない実態は解消されているか。3月期に、受け入れできないことが何日かあったが、これは、沿岸地区へ製品堆肥の運搬のために人的体制



高校2年生を対象とした企業説明会の様子

が取れなかったためである。

遠野で働き、暮らせる雇用対策を

若年者継続勤務奨励金は、3年間離職しないで勤務した者に対して5万円交付するが、平成29年度計画60

人に対し実績が32人になった要因は。

前年度は43人で、11人減となった。基となる3年前の雇用人数がその前の年に比較して10人減少していたことから、3年後の平成29年度実績が減少となったものである。離職理由の把握に努めてい

全国わさび生産者大会をどう活かす

全国わさび生産者大会が開催されたが、今後のわさび振興にどのように活かすのか。

大会に千人を超える参加者があった。品評会では本市からは特賞1人、優秀賞1人、奨励賞2人が受賞。全国にPRすることでわ



生産拡大が期待されるパドロン

さびに対する魅力、価値が増す現象があり、生産者を確保する一つの方策となる。畑わさびは遠野市が県内4位の生産成績である。旧川井村の遊休畑での生産技術を活用し、市内遊休畑208アールの中からわさびに適した場所を探っていく。

青年就農給付金の活用と返還金の内容は、これまで37経営体が受給している。29年度の返還金は、就農一時休止による3か月分(37万5千円)の返還金である。

外国人観光客の受け入れ態勢の充実を、インバウンドの取り組みは、伊能嘉矩生誕150年に合わせ、多言語の看板設置やおもてなし講座の開催等、受け入れ環境の整備に取り組んだ。

29年度の経営体の数はいくらか。取り組みでいる作物は、29年度は19経営体が受給している。作物別は、野菜が7件、肉用牛が6件、工芸作物が4件、果樹が1件、水稲が1件となっている。

県と連携を図り、各観光施設と情報共有しながら取り組みたい。病気やケガ等の急なトラブル、両替やクレジットカード等への対応は十分か。トラブル等の報告はなかったが、今後ラ

グビーワールドカップ釜石大会も開催される。課題を整理し、導入した音声翻訳タブレットも有効に活用しながら取り組みを進めたい。

市内での消費について把握していない。マーケティングの必要性を認識しており、観光全体として平成30年度から調査に取り組んでいる。



遠野駅前ではショッピングを楽しむ観光客

予算等審査特別委員会

予算等審査特別委員会（議長を除く17人の議員で構成、委員長萩野幸弘議員、副委員長菊池美也議員）は、条例5件、予算6件、その他1件について付託を受け、審議を行いました。

今委員会では、今後の施策全般にわたり活発な質疑が交わされました。その結果、全12議案が原案のとおり可決・承認されました。

事業系ごみが有料化に

平成31年4月1日から事業系燃えるごみ等の有料化導入について概要がまとまったことから、今定例会にその条例が提案された。

事業系燃えるごみとは、事業活動に伴って生じた廃棄物を指し、条例にはその定義や手数料について示されている。

導入案についての概要は、商工会、区長会、一般廃棄物収集運搬業許可業者等への説明会、パブリックコメント等で意見を聴取しまとめられたと説明があった。

遠野市廃棄物手数料条例の制定

問 事業系ごみの手数料と納付方法は。

答 遠野中継センターへ直接搬入する場合は、10キログラムにつき130円。地域の集積所に出す場合は、新

たに制作される有料ごみ袋を購入すること、30リットル袋につき100円の処理手数料を納入したことになる。

ビールの黒いづくりに向けて

問 6月議会ではホップ生産圃場の整備であったが、今回はビールの里構想の中で「遠野パドロン」の産地化を進める事業内容である。どのように展開するのか。

答 圃場面積を現在の露地栽培40アールから、周年栽培用ハウス70アールを整備する。

問 パドロン10アール当りの販売額が146万円から14・1倍の2千60万円となる説明であった。さらに生産拡大すべきと思うが。

答 野菜の重点品目のように、技術者から指

導を受けられる環境が整った場合、拡大が図られると考えている。

問 生産者が安心して取り組むことのできる契約栽培にできないか。

答 生産されたパドロンは、販路が確定している。契約栽培に繋がる量産体制の確立を図っていきたい。

問 ホップの総合的構想と設備更新を合わせた工程を考えるべきでは。

答 新規就農と育成に努めながら、乾燥施設についてもホップ農協と考えていく。

鱒沢やな施設活用方針は

問 鱒沢のやな施設は、土砂や流木が堆積されたままになっていく。今回の観光施設工事請負費に関係予算が計上されていないが。

答 田瀬ダム管理支所には、やな上流部に土

盛り工事を、市はやな周辺の土砂撤去をすることになっていく。しかし、大雨等の自然災害が多くなっており、良い方法を検討しなければならぬことから、今回の予算には計上していない。

問 やなの施設は、宿泊施設や関連施設と違い、限られた期間だけの利用である。間に合わなかった理由と今後の見通しは。

答 鱒沢やなは歴史もあり、観光資源の重要施設と認識している。県内外の施設対応の情報収集や地元と協議し、方針を固めてから地域経営会議に諮れるようにしたい。

問 早期に、堆積土砂の撤去が急がれる鱒沢やな



積土砂の撤去をしなければ、道路の管理に支障をきたしているが。

答 現状の改善については対応していく。廃止ありきではないので今後十分な議論をして対応したい。

児童生徒の健康状態が心配

問 酷暑における、普通教室の学習環境をどのように捉えているか。

答 (市長) 幸いにも、校内や学校行事において、熱中症にかかった児童生徒の報告は無い。

善をする必要があると認識している。

問 クーラー設置の早期計画策定が必要ではないか。

答 (市長) 保健室にクーラーがない学校もある。体調を崩した児童生徒の休養の場への設置を最優先とし、効果的な設置計画を策定したい。

財源について、国・県に要望し、平成31年度当初予算、補正予算のなかで検討したいと考える。



菊池 美也 議員

(政和クラブ)

一問一答方式

その他の質問

●組織再編その後について

子どもから広める共生社会

問 多様性を認め合う「共生社会実現」の機運はまだまだ醸成されていない。健康者が、障がい者の理解を深めなければならぬが、教育長の考えは。

答 (教育長) 偏見という様々なバリエーションを取り除き、お互いに理解を深めようとするコミュニケーションの中から、支え合う心の醸成を図ることが大切であると感じている。

問 難聴児童に対する学校の合理的配慮(情報保障)が足りていない。デジタルワイヤレス補聴システム「※ロジャー」を導入し、教育効果を上げる考えは。

答 (教育長) 「ロジャー」は、他の子ども達の話し声がある教室や、広い体育館など、学校生活の様々な場面での「聴こえにくさ」を解消する。機器の選定や、管理・運用のルール作りなど、配備に向けた手続きを進め、学びを保障する。

問 難聴児童に対する学校の合理的配慮(情報保障)が足りていない。デジタルワイヤレス補聴システム「※ロジャー」を導入し、教育効果を上げる考えは。

答 (教育長) 教育委員会には、子ども達の教育機会を確保する責任がある。今後も現場のニーズに適切に対応していく。

※ロジャー 補聴を支援するシステム。話し手である教師が送信器を使用して、受信器を通じて、児童生徒に直接的に声を届けることができます。



瀧澤 征幸 議員
(躍進とおの)

一問一答方式

人口減少社会に 今後どう 立ち向かうのか

問……………

全国的な人口減少の
流れを当市としてどう
とらえているのか。

答(市長)……………

日本の人口は、平成
22年の約1億2800
万人をピークに減少し
ている。

当市の状況は、昭和
30年の4万7110人

をピークに人口減少が
続き、平成27年の国勢
調査では2万8062
人となっており、20
40年の人口予測につ
いては、2万2000人
程度を確保できるよう
展望している。

「まち・ひと・しごと
創生総合戦略」の成
果と現状は。

問……………

主に、①遠
野東工業団地の拡張整
備②TKプロジェクト
によるまちづくりとホ
ップ栽培新規就農者へ
の支援③道の駅「遠野
風の丘」20周年感謝祭
をはじめとする※プロ
モーション・セールスの
展開や※インバウンド
への対応④みらい創り
カレッジでの交流人口
の拡大⑤ICT健康
塾による健康づくり・
健康寿命の延伸に向け
た取り組み等々である。

答(市長)……………

※TKプロジェクト
遠野産ホップをキーワー
ドに遠野市の「T」とキラ
ンビル(株)の「K」が
連携し、遠野産食材のPR
や販路拡大、まつりなどの
観光情報の発信等地域振
興を図るための取り組み。
※プロモーションセールス
販売促進活動のこと。
※インバウンド
一般的に外国人の訪日旅
行のこと。
※ICT
IT技術の総称で、特に
公共サービスの分野に使わ
れる用語。

地域おこし協力隊への 支援による人口減少対策は

問……………

総務省事業である地
域おこし協力隊制度は
平成21年度から始ま
り、平成29年度では4
976人、997団体
となり、任期終了後約
6割が地域に定住とい
うデータがあるが。

答(市長)……………

平成25年度と比較す
ると隊員を受け入れた
全国の自治体は約3
倍、隊員数は実に約5
倍に達している。地元
への更なる定着のため
には、一定の定住環境
や受け皿の整備が重要
であることが浮き彫り
になっている。

問……………

地域おこし協力隊員
は、遠野市の人口減少
を食い止める大きな力
をもっているとの確信す
るが、彼らへの
支援や今後の定
住対策は。

答(市長)……………

現在18名の隊
員が様々な活動
を行っている。
各隊員が一所懸
命に努力し、着
実に成果を上げ
ている姿は、評
価に値する。
したがって、
地域おこし協力
隊への支援につ
いては、今後の
定住対策を含



地域おこし協力隊による上郷の地域情報掲示板フェイスブック

人口減少問題対策に ひと工夫考えて

問……………

人口が減少しても地
域住民の暮らしが維持
できる方策は。

答(市長)……………

地区まちづくり計画
に沿って活用いただく
「まちづくり一括交付
金」を地域の課題に沿
った事業の実施を目指
して設置した。そして、
地域づくり、人づくり、
健康づくりをキーワード

ドに、住民が主体とな
る地域づくりの体制づ
くり、担い手の育成、
住民一人ひとりの健康
維持に取り組んでいる。

問……………

市の未来を託す若者
が定住できる環境が必
要。対策のひとつに若
年者定着促進家賃補助
制度があるが、補助は
3年、遠野市内の企業
で働く者のみが対象。
補助期間や市外に勤め

る者まで範囲を広げる
見直しが必要では。

答(市長)……………

遠野に住み、遠野で
働く若者に民間賃貸住
宅の家賃を上限1万5
千円の補助がある。今
年から企業が確保した
アパートも対象に加え
拡充を図っている。し
かし、定住人口を確保
する観点から市外で働
くケースや、補助期間
の延長が今後の検討課
題である。

地域住民の足 確保の解決策はあるのか

問……………

デマンドバスの拡
大、土日祝日運行の考
えは。

答(市長)……………

路線拡大について
は、包括的な検討の中
で総合的に考えていく。
市中心市街地と各地
区を結ぶ路線は「幹線
交通」とし市が維持す
る方針とし、幹線周辺
の交通は住民主体によ
る「※公共交通空白地
有償運送」の導入等の
新たな運行形態も検討
していきたい。土日祝
日運行については、公
共交通の検討の中で、
実現の可能性を探って
いきたい。

問……………

高齢者の運転免許自
主返納後の対策をどの
ように考えているか。
カーシェアリングや、
各自治会で自由に使用
する車両を配置する等の
検討が必要では。

答(市長)……………

公共交通が乏
しく、自動車の
運転ができない
と日常の買い物
や通院に支障を
きたす高齢者が
多い。上郷町で
は、買い物弱者
のサポートをモ
デル事業として
実施している。
小さな拠点をネ
ットワークとし

※公共交通空白地有償運
送
運送事業者でない任意団
体でも、国の許可を得るこ
とで有償運送をすることが
できる制度。事業者の運行
の無い交通空白地であるこ
とが条件。



菊池 巳喜男 議員
(市民クラブ)

一問一答方式



地域住民に大切なデマンドバス



宮田 勝美 議員 (無党派)

一問一答方式

中心市街地活性化の取組みと進捗状況は

問.....
前期中心市街地活性化基本計画の事業内容は、どのように変わったか。

答(市長).....
前期計画(平成21年〜25年)では、「町家の心が息づく語らいのまち」をテーマに、主にハード事業を実施した。

問.....
2期目(後期計画)による賑わいの減少傾向を緩和したとはいえるが、回復には至っていないと捉えている。

答(市長).....
東日本大震災の影響による賑わいの減少傾向を緩和したとはいえるが、回復には至っていないと捉えている。

では市内を回遊とあるが、どのようにイメージしているか。

答(市長).....
イベント時の効果そのものが、通常の平日及び休日の日常的な賑わいに充分につながっていないとはまだいえず、イベント時の回遊の動きを日常的なものにしていくことが、今後の課題と認識している。

問.....
2期目では市内各商店街にどのような変化が現れ始めているか。

答(市長).....
中心市街地においては、空き店舗の改修による新規起業が増加。先行起業者の取り組みが周辺商店街へ波及している。

問.....
地域包括支援センターと福祉の里が連携して支援に努めている。県との連携を図る役割も果たしたい。

答(市長).....
地域包括支援センターと福祉の里が連携して支援に努めている。県との連携を図る役割も果たしたい。

問.....
がん患者への緩和ケアや、自宅や住み慣れた地域で行える体制が必要では。

答(市長).....
緩和ケアは人間の尊厳の取り組み。慎重に対応する課題であり、情報収集を図りたい。

問.....
がん治療と仕事の両立を支援する仕組みが必要では。

答(市長).....
緩和ケアは人間の尊厳の取り組み。慎重に対応する課題であり、情報収集を図りたい。

ていると考える。

問.....
中心市街地活性化と遠野市の財政との関連性は。

答(市長).....
健全な財政運営を図る上で、固定資産税を安定的に確保するためにも、中心市街地の活性化は重要であると認識している。



中心市街地で開催された日本のふるさと遠野まつり

ライフラインの耐震化の現状は

問.....
水道施設の耐震化の更新状況、東日本大震災時の被害状況及び他市町村との応援体制についての現状は。

答(市長).....
水道ビジョンでは、「耐震化推進事業」を活用し、8年後の西暦2026年までに約24.0kmの老朽管更新を実施し、耐震管適合率を56.7%まで向上させる計画である。

問.....
下水道管路施設の地震対策、耐震化の取り組み状況及び地震が発生し被害が出た場合の対応状況については。

答(市長).....
大規模地震が発生した際には、その機能を維持または早期回復することが必要不可欠であることを踏まえ対応計画を定めている。

問.....
古民家・古材のさらなる再生・活用に取り組むべきでは。

答(市長).....
市内に150棟ほど確認されている。誇るべき地域資源であり、マンパワー集団との連携を図りながら取り組むことも大事である。地域づくり・町づくりへの利活用を考えたい。

問.....
全体構想や指針をもって芸術文化振興に取り組むべきでは。

答(市長).....
地域の活力、遠野の魅力を引き出していくため、振興条例制定について積極的に検討する。



「民話の道」の再活用も必要ではなか。

問.....
民話・童話・妖怪を活用して親子・家族で楽しめる地域活性化の取り組みが必要では。

答(市長).....
ドイツのシュタイナウ市や福岡町、大府市、武蔵野市等、都市間交流にも活かせる。知恵と工夫、アイデアなど情報共有しながら、魅力づくりにつなげたい。



小林 立栄 議員 (無党派)

一問一答方式

生活に安心を

問.....
※不育症で悩んでいる方への取り組みは。

答(市長).....
心配り、気配りが大事である。切れ目ない子育て環境の中で、相談・ケアに対応できる体制を構築したい。

問.....
本人の意思や能力を尊重した寄り添いを大事にする認知症支援が大事では。

答(市長).....
認知症サポーター養成講座を開催し3082人が地域における応援者となっている。認知症地域支援推進員を地域包括支援センター内に配置し、本人の意思や能力を尊重した寄り添いの充実にも取り組んでいる。

問.....
若年性認知症の方への支援は。

答(市長).....
緩和ケアは人間の尊厳の取り組み。慎重に対応する課題であり、情報収集を図りたい。

地域資源を活かした遠野の元気創出を



萩野 幸弘 議員

(躍進とおの)

一問一答方式

その他の質問

- 市内2高校存続の取り組みと高校魅力化について

JR遠野駅舎改修に 対する本市の見解は

問.....

遠野駅舎建て替えの結論に至った経緯は。

に配慮する設計が可能であることが確認されたためである。

答(市長).....

平成26年にJR盛岡支社から駅舎解体と規模縮小方針の提示を受け、その後JR盛岡支社と協議する中で、耐震状況が著しく厳しい等の理由で現在の駅舎保存が難しく、逆に新設の場合は景観や外観

問.....

現在の駅舎保存が難しいという具体的な根拠は。

答(市長).....

JR盛岡支社は、耐震上の課題と1日当りの利用客3000人の現状、職員4人の運行

問.....

管理体制では維持管理困難との見解である。当市としては、駅舎を耐震補強して保存する場合の概算費用の算出と、建築基準法上の問題の有無等、具体的な根拠の提示を再三お願いしている。

問.....

駅舎は、保存、同規模新築のほかにも小規



遠野の玄関口として存在感を示しているJR遠野駅

ICT遠隔授業 導入で教育環境 の更なる向上を

問.....

小学校の統合に関し、現在の基本的な考えや今後の見通しは。

答(教育長).....

各校の地理的、文化的、あるいは地域住民の思いなどを鑑み、単なる数合わせによる議論は性急と考えているが、少子化の現実も直視し地域と懇談を進め、住民意見と摺り合わせながら、将来に向けた準備を慎重に進めていきたい。

問.....

子どもたちの学校環境や授業環境の更なる向上及び教職員の業務の効率化に向け、ICTを活用した遠隔授業に本市としても前向きに取り組むべきでは。

答(教育長).....

小規模校同士が連携して相互の教育資源を活用する遠隔授業は有効であるが、人同士の直接的な触れ合いや付き合いから上手に人間関係を結ぶ力を育てることも大事と考えている。今後も先進地の取り組みを注視しながら検討していきたい。



浅沼 幸雄 議員

(政和クラブ)

一問一答方式

その他の質問

- 買い物難民・弱者対策について

リニューアルした わらすっころームの反響は

問.....

本年度リニューアルしたわらすっころームの利用状況や反響は。

答(市長).....

リニューアルオープン後の利用状況は、前年5月の利用者69人に対し今年度は419人で約6倍、6月から8月までは約3倍の増加となっており、多くの親子連れ、また、保護者

問.....

子育て支援に関する今後の考え方や計画は。

答(市長).....

第2弾としてわらすっころーム東側を、屋外遊戯施設や、子育ての交流、くつろぎの場として整備を予定し

問.....

ており、さらには、妊娠から出産・育児にわたる切れ目のない包括支援と、子育て期の家庭を総合的にサポートする二つの機能を融合した施設を構築したい。

また、切れ目のない事業を展開する上で、わらすっころームに期待している。サポート、ボランティアの意見を頂きながら政策につなげ、平成30年度の事業の中で検討していきたい。

また、切れ目のない事業を展開する上で、わらすっころームに期待している。サポート、ボランティアの意見を頂きながら政策につなげ、平成30年度の事業の中で検討していきたい。

答(市長).....

市内11ヶ所の児童館及び児童クラブの指導員に対し、発達障がい児等に寄り添った対応と健全育成への対応に係る専門的な研修等5事業を実施した。専門知識は多岐にわたることから、指導員研修は、支援が必要な子どもに対する細やかな指導等に効果的であると認識している。

問.....

同様の主旨で保育園等ネットワーク推進補助金を創設しては。

答(市長).....

保育協会の組織として

問.....

て研修会の取り組みがされていると認識している。ネットワークとしては、保育協会にも位置づけなければならぬと捉えている。



ますます期待される当市の子育て支援



菊池 充 議員
(遠野一新会)
一問一答方式

ホップの里づくり対策の課題は

問……………

遠野地方のホップの契約栽培が始まって55年が経過したが、この間に、栽培面積が112ヘクタールから25ヘクタールに、生産量は229トンから43・6トンに、生産者は239戸から34戸にそれぞれピーク時から大幅な減少となっている。原因をどのようにとらえているか。

答(市長)……………

要因は、昭和63年からの大手ビール会社の減反政策、生産者の高齢化、後継者不足が大きいと受け止めている。特に収穫時に一時的ではあるが、相当な労働力が必要であり、その労働力の確保が難しくなってきたこと、減少の要因の一つであると捉えている。

問……………

市内で生産拡大を目指す機運が、全国紙や地方紙で取り上げられ紹介されているが、市として生産拡大への支援策は。

答(市長)……………

平成27年度以降、6人の新規就農者が約4・6ヘクタールの圃場でホップ栽培を開始している。今後、遠野

ホップ農協や大手ビール会社との協議を進め、新規就農者や既存農家への誘導施策を継続して進め、ホップ栽培面積の維持に取り組むたいと考えている。

熱壁の損傷等もあると伺っている。今回のビールの里構想において、生産者、ホップ農協、大手ビール会社等の関係者による安定的な生産体制が構築されたホップの産地として新たなステージに踏み出

すこととなった。市としては、これらの取り組みをしっかりとフォローし、「ビールの里遠野」の実現のため、その役割を担う決意である。

同センターの状況については、担当課から報告を受けている。ベルトコンベアの摩耗をはじめボイラー内の耐



早急な整備が求められている遠野特産農業センター (ホップ乾燥施設)



瀧本 孝一 議員
(市民クラブ)
一問一答方式

市営住宅入居の高齢者への家賃支援を

問……………

自宅を持たない高齢者等の、市営住宅や民間アパート等への入居実態は。

答(市長)……………

平成29年度末の市営住宅への65歳以上の高齢者の入居状況は、343世帯中139世帯で、うち単身世帯が82世帯で半分以上となっている。市内民間アパート等で暮らしている65歳以

問……………

上の一人暮らし高齢者は、住民基本台帳情報から約80世帯と見込まれる。

答(市長)……………

市営住宅における、高齢者等への家賃の減免・割引措置等はあるのか。

問……………

市営住宅使用料(家賃)と、福祉支援策の相互連携の構築や関係は。

答(市長)……………

市営住宅は公営住宅法に基づき住宅である。家賃の減免規定は遠野市営住宅条例第16条で規定され、病気や災害

問……………

市内観光施設やさわやかトイレの水洗化と、洋式便器化の現状実態は。

答(市長)……………

観光施設は8カ所の

公衆トイレから発信する観光客対策は

問……………

トイレから発信する遠野の魅力や印象と、観光客対策は。

答(市長)……………

地方の魅力づくりの一環としてトイレを位置づけて行くことも必要であり、日本トイレ学会などとも連携しながら手立てを講じ、環境整備に取り組むことが行政の役割と考える。



市内に7カ所ある中のひとつのさわやかトイレの外観



男子便器の洋式化や全般的な環境改善も早急に望まれる

わたしのひとこと



多田 健一郎 さん
(宮守町)

「若いのによく農家継いでるね」という言葉をかけられることが多くあります。学生時代は畑の草取りさえしなかった私ですが、上京して一人暮らしをしていた際に実家からの米や野菜の仕送りが生活の支えだったことや、海外での長期滞在中に日本食のありがたみを感じたこと

から、「岩手で農家を継ごう」と決意するに至りました。

農家は高齢化が進み、休みや定年がないと思っている方も多いかと思いますが、私自身は祖父から仕事を引き継ぐことができ良かったと思っています。まだまだ半人前（にもなっていないかも）ですが、農業も人生も先輩の方々からたくさんの教えを頂きながら、日々奮闘しています。

「日本の未来は農家が担っている」という言葉を胸に、若い人たちに「農家ってカッコいい」と思ってもらえるようにこれからも努力していきます。

このコーナーは、市民の皆様のまちづくりの夢や希望などを掲載しています。掲載を希望される方は、お気軽に当事務局までお申し出ください。

異常気象と多発する災害で、家族や住む家を失った被災者の心境を思う時、一日も早い復旧復興を願うばかりです。被災された多くの皆様に謹んでお悔みとお見舞いを申し上げます。我々、広聴広報常任委員会は

編集後記



今定例会では、放射能汚染対策調査特別委員会から最後の報告が行われたが、原木しいたけ農家の不安は払しょくされておらず、課題が多く残されています。市民の皆様から「読みやすくしたい」「次の発行を楽しみにしています」など、多くの応援をお寄せいただき、お蔭様で任期最後の議会報発行となりました。読んでいただくことで議会がいくらかでも伝わればという思いで編集に携わってまいりました。次号からは新たなメンバーでの編集となります。どうか今までと同様にご指導をお願いいたします。

(勉)

広聴広報常任委員

- 委員長 菊池 巳喜男
- 副委員長 小林 立栄
- 委員 菊池 充・照井 文雄・多田 勉・菊池 美也

とのおの議会だより クイズ

●欄に適切な言葉を入れて下さい

- その① 平成 29 年度の決算額歳出総額は ●●●億円。
- その② 産業建設常任委員会が視察したわさび田は島根県益田市●●地域にある。
- その③ 児童虐待を防止しましょう！気になる子どもがいたらいちはやく電話。62-0●●●へ電話を。



この議会だよりの中に答えがあるので、最初から最後まで読んでみてください



《応募方法》 クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、ハガキやメールでご応募ください。議会だよりを読んだ感想や、議会へのご意見もお書き添えください。ご意見等は、「市民の声」のコーナーで、できるだけご紹介させていただきます。応募者の中から、抽選で3名の方にすずらん商品券 1,000 円分をお贈りします。(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。)

《あて先》 〒028-0592 遠野市中央通り9番1号 遠野市議会事務局 宛

《メールでも応募できます!!》 gikai@city.tono.iwate.jp

《しめきり》 平成 30 年 11 月 30 日 (金) (当日消印有効)

～議会だより54号クイズの答え～

その① 6 その② 115 その③ ICT

議会への提言をお待ちしております!

遠野議会だより

No.55

【発行責任者】遠野市議会議長 新田勝見 【編集】広聴広報常任委員会

〒028-0592 岩手県遠野市中央通り9番1号
ホームページ <http://www.city.tono.iwate.jp/>
【印刷】株式会社 東海印刷所

TEL 0198-62-2111
E-mail gikai@city.tono.iwate.jp



環境にやさしい 植物性100%インクを使用しています